

関西大学生と市民との協働による
城下町エリアの暮らし方再発見と情報発信

0.はじめに

本稿は、大野市連携協定に基づいた「関わり続ける定住のカタチによる結の故郷づくりの基盤的研究」における、横町スタジオ-ものづくりワークショップを通じた城下町エリアの暮らし再発見-運営補助業務報告書である。下記に業務の概要を記す。

業務期間：令和4年11月1日～令和5年3月15日

場所：横町スタジオを拠点とした大野市での取り組み

担当：一般社団法人カンデ 三浦

報告書作成者及び文責：一般社団法人カンデ 三浦

1.横町スタジオ拠点整備・運営補助業務の目的

本業務は、地域拠点横町スタジオの継続と取り組みの発展を目的としている。一般社団法人カンデは、横町スタジオの運営を行う地域団体「横町編集部」と連携し、持続的な運営の実現を目指し、下記の取り組みを実施した。

1. ものづくりWSの企画および実施
2. 企画の広報および記録
3. WS記録写真の作成

*横町スタジオものづくりWSとは、これまで横町スタジオ拠点作り事業の一環で実施した空き家改修や木工体験等のワークショップを進化させた企画である。ものづくりを通じて地域社会と接点をもつことを目的とするために、下記の4点を企画のポイントとした。

- ・身の回りのありふれたものを使う。
- ・原材料をたどることで、ものができるとの経緯を知る。
- ・ものが役に立つ可能性を模索する。
- ・専門家や事業者と協働し、専門性を高める。

2.業務の内容

全五回（うち一回は番外編の位置付け）のワークショップの詳細を下記に示す。

1. 11月19日（土）『ソーシャルコンポストで学ぶ、生ごみのこと』

講師：横町編集部代表 三浦 紋人

テーマ：ソーシャルコンポストを用いた、生ごみ問題へのアプローチ。

目標：生ごみの課題についてクイズ形式学ぶ。実際にコンポストを見学し、地域で処理できる方法を学ぶ。

参加人数15名：大人9名、子ども3名、スタッフ3名

2. 12月24日（土）『ストロー立体で学ぶ、身の回りの物の可能性』

講師：福井工業大学 准教授 清水 俊貴

テーマ：ストローを構造物として複数繋ぎ合わせ、立体を作る。

目標：新たな建材の可能性について学ぶ。ものづくりを通じて、空き家への理解を高める。

参加人数13名：大人7名、子ども2名、スタッフ4名

3. 1月21日（土） *講師の事情により2月18日（土）に振替。

前半『樹脂判別センサーを使って学ぶ、プラスチックのこと』

講師：(株) RICHIO

テーマ：樹脂識別センサーを用いたプラスチックの判別。

目標：プラスチックの課題について学ぶ。数種類のプラの分別から、その特性を学ぶ。

後半『海洋プラごみの課題とその可能性』

講師：TONKAN terrace 代表 黒田 悠生

テーマ：プレシヤスプラスチック成形を用いたプラごみの活用。

目標：大野のプラごみからオリジナルタイルを作って、プラごみの循環と活用について学ぶ。

参加人数21名：大人13名、子ども5名、スタッフ3名

4. 3月18日（土）『照明デザインから学ぶ、光害や防災のこと』

講師：(株) LEM 空間工房 代表取締役 長町 志穂

テーマ：まちを照らす照明を参加者と考え、実際に設置してみる。

目標：照明を使った光害や防災への取り組みについて学ぶ。

参加人数38名：大人28名、子ども0名、スタッフ9名

5(番外編). 2月18日(土)『シルクスクリーン体験を通じて学ぶ、サステナブルファッションのこと』

講師：株式会社ラコム代表取締役 織田研吾氏

版画制作：斎藤はるか氏(おとしぶみ)

テーマ：古着にシルクスクリーンを刷ることやワッペンを取り付ける体験を通じて、衣類の破棄や流通について学び、サステナブルファッションに挑戦すること。

参加人数22名：大人7名、子ども3名、スタッフ12名

名称	日程又は期間	活動内容
ものづくりWS	10月中旬	大野市結の故郷補助金の申請および採択
	11/14	清水氏打ち合わせ@横町スタジオ ・現場確認および使用する材料の確認。
	11/15	WS【第1弾】チラシの配布(100部) ・区内、SNS
	11/19	ものづくりWS【第1弾】の実施。
	11/21	よしストローの利用に関する@平泉寺小学校 相談。
	11/14	長町氏打ち合わせ@オンライン ・横町通りの照明状況の確認。
	11/30	・ワークショップ企画内容に関する相談。
	12/9,12/12	黒田氏打ち合わせ@トンカンテラス ・使用する素材について検討。 ・ワークショップ制作物に関する企画検討。
	12/13	WS【第2弾】チラシの配布(2300部) ・小中学校、区内、SNS
	12/14	清水氏打ち合わせ@福井工大 ・ストロージョイント制作について検討。
	12/22	清水氏打ち合わせ@横町スタジオ ・事前準備および当日の流れ確認。
	12/24	ものづくりWS【第2弾】の実施
	12/30	LEM 空間工房中村氏打ち合わせ@オンライン ・使用する機材について検討。 ・企画に関する相談
	1/6	WS【第3弾】チラシの配布(2300部) ・小中学校、区内、SNS
	1/7	清水氏打ち合わせ@福井工大

1/13	織田氏打ち合わせ@株式会社ラコム ・企画検討、使用する素材の見学 ものづくりWS【第2弾】の延期
1/21	黒田氏打ち合わせ@オンライン
1/30	・振替日程の調整 ・事前準備
2/1	WS【番外編】チラシの配布（2300部） ・小中学校、区内、SNS
2/19	ものづくりWS【第3弾】の実施
2/19	ものづくりWS【番外編】の実施
2/20	WS【番外編】チラシの配布（300部） ・区内、SNS、招待状。
3/7	丸栄電工打ち合わせ
3/8	・街路灯フィルム取り付けに関する相談。
3/9	長町氏打ち合わせ ・当日の段取りについて相談。 ・夜の街歩きに関する企画の最終調整 ・安全性の確認。
3/9	区内に説明会の実施 ・区内への告知 ・企画趣旨の説明
3/18	ものづくりWS【第4弾】の実施 懇親会の実施
3/19	報告書作成

3.業務の成果

本業務では、参加者がものづくりを通じて、社会あるいは地域のことを知り、接点を持つことを目的とした。各回の考察を行う。

1. 11月19日（土）『ソーシャルコンポストで学ぶ、生ごみのこと』

一家に一台から、一コミュニティに一台設置することを目指したソーシャルコンポストについて、座学、野菜クズで作ったスープの試飲、クズの餌やり、コンポストの見学会を行った。身近には、生ごみを漁るカラスの存在、大きくは、日本社会のごみ焼却と生ごみの歴史をコンポストの観点から学んだ。とくに、地域内で楽しく生ごみを処理するソーシャルコンポストという手法に効果を実感した。

2. 12月24日（土）『ストロー立体で学ぶ、身の回りの物の可能性』

ストローとゼムクリップだけで作るコテトラ（コミュニケーション・テトラ）で、正二十面体やピラミッド、タワー等の複雑な立体を作った。点・線・面という物事の本質的な性質を非常に簡単に学べるワークショップでありながらも、自分の身体がすっぽり入る立体をつくった経験は、防災時や非常時に自分を守るシェルターの役割を果たすと考察した。また、ストローはプラ、紙、よしの三種類を準備し、参加者が自ら選んだ。

3. 1月21日（土）

前半『樹脂判別センサーを使って学ぶ、プラスチックのこと』

横町スタジオ内のオブジェクトを測定、一覧表で確認することを通じて、身の回りのプラスチックの種類や性質について学んだ。

後半『海洋プラごみの課題とその可能性』

プラスチックを砕く、溶かす、金型に流し込み、オリジナルコースターを作成した。福井県における海ゴミの量や清掃の実態の紹介からは、消費者としてプラスチックとの向き合いかたやものづくりを通じた再生やアップサイクルについて学んだ

4. 3月18日（土）『照明デザインから学ぶ、光害や防災のこと』

全国の照明デザインおよび計画の事例紹介や、実際に仮設的に照明を設置して効果を体感する夜のまち歩きを通じて、照明における観光・集客、防災・減災、景観修景、まちづくり等の幅広い分野を横断する効果について学んだ。夜のまち歩きでは、建物や電信柱、お寺の境内を照らしてまわり、加えて事前に電灯の照明の色温度を下げるフィルムの貼付を行うことや、軒先に提灯を引っ掛けて回る活動を組み合わせて、横町通り全体の景観デザインを考える社会実験となった。また、横町通りの自治会からの参加も多く、市民の景観デザインの理解にも役立った。

5(番外編). 2月18日(土)『シルクスクリーン体験を通じて学ぶ、サステナブルファッション古着や古道具を持ち寄り、シルクスクリーンやワッペン貼付などの体験を行った。年間に廃棄される服の量、あるいは産業のサプライチェーンのなかで廃棄される布や糸の量などから、ドイツの事例を参照してサステナブルファッションについて学んだ。版画のデザインは、福井在住のイラストレーターに委託する試みからは、デザイナー、制作者、消費者の距離を縮め、かつ自分で作ることで愛着を生み、サステナブルファッションとなることを経験した。

4.まとめ

本事業の全五回のワークショップを通じて、横町スタジオのものづくりへの価値観に共感する人々との関わりを生み出したことは大きな成果のように思う。アンケートでは、・今後も引き続き実施してほしい。・実際のものづくりにもっとチャレンジしたい。・雪を楽しめるワークショップを実施してほしい。等のポジティブな意見が多かった反面、・もう少し横町スタジオの取り組み広報を頑張してほしい。・生活の役に立つ企画をしてほしい。・飲み物の提供をしてほしい。等の要望もあり、次回以降の課題が認識できた。

広報としては、チラシを毎回2500部刷って、小中学校に配布する、SNSを活用した情報発信を行ったが、学校で配布される情報が多く埋もれてしまい、なかなか届けたい人へ情報が届いていないことを実感した。また、今後も取り組みを継続するために、予算化・スケジュール化を検討したい。今後の展望としては、参加者にとっては、ものづくりを体験できる場所でありながらも、講師にとっても横町スタジオワークショップに参画することへの価値を高めることで、若手作家や事業者の活躍機会、若手～中堅、ベテランの交流機会の創出を行い、大野に人を呼び込む企画としたい。さらに、今回の講師は、20代2名、30代1名、40代1名、50代2名であったが、交流会のみならず、企画から関わられるようにすることで、分野の横断やものづくりの可能性の拡大、世代間コラボを実現したい。

5.写真記録集

写真1 11月19日(土)『ソーシャルコンポストで学ぶ、生ごみのこと』



写真2 11月19日(土)『ソーシャルコンポストで学ぶ、生ごみのこと』



写真3 12月24日(土)『ストロー立体で学ぶ、身の回りの物の可能性』



写真4 12月24日(土)『ストロー立体で学ぶ、身の回りの物の可能性』



写真5 前半『樹脂判別センサーを使って学ぶ、プラスチックのこと』



写真6 前半『樹脂判別センサーを使って学ぶ、プラスチックのこと』



写真7 2月18日(土)『シルクスクリーン体験を通じて学ぶ、サステナブルファッション』



写真8 2月18日(土)『シルクスクリーン体験を通じて学ぶ、サステナブルファッション』



写真9 3月18日(土)『照明デザインから学ぶ、光害や防災のこと』



写真10 3月18日(土)『照明デザインから学ぶ、光害や防災のこと』



写真11 3月18日(土)『照明デザインから学ぶ、光害や防災のこと』



写真12 3月18日(土)『照明デザインから学ぶ、光害や防災のこと』

